

第39回全九州高等学校バスケットボール競技大会

公式ボックス・スコア

男子 決勝

試合日：平成21年2月15日(日)
 開始時刻：14:00
 会場：宮崎市総合体育館
 コート：Aコート
 試合順：第4試合

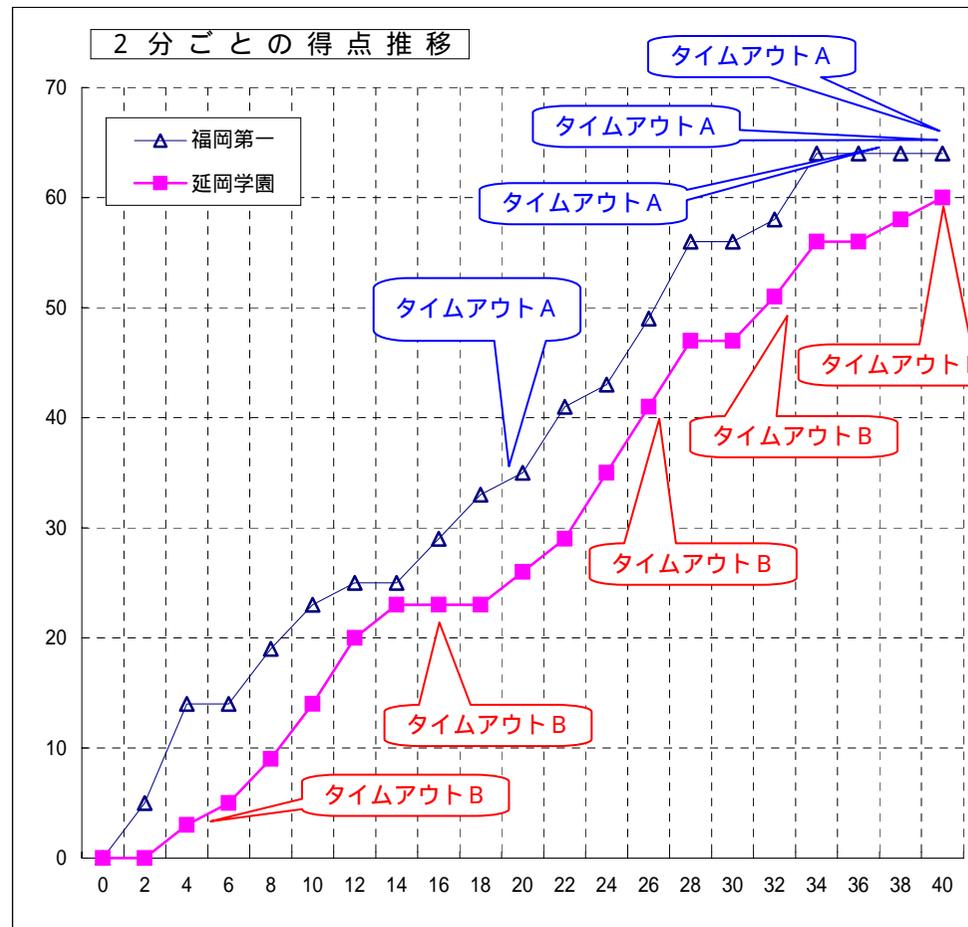
Team A		Team B
福岡第一	64	延岡学園
(福岡1位)	$\begin{pmatrix} 23 & - & 14 \\ 12 & - & 12 \\ 21 & - & 21 \\ 8 & - & 13 \\ & - & \end{pmatrix}$	(宮崎1位)
	60	

Team A 福岡第一 (福岡1位)

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F
			M	A	M	A	M	A	
4	山崎 翔	0	0	1	0	0	0	0	0
5	古賀 賢一郎	0	0	0	0	0	0	0	0
6	和田 直樹	4	0	1	1	6	2	2	2
7	園 幸樹	11	0	0	5	14	1	2	1
8	玉井 勇気	26	2	6	9	13	2	2	2
9	真田 健志朗	0	0	0	0	0	0	0	0
10	ヒカ・エリサ・イ・ネマ	19	0	0	9	16	1	1	3
11	川崎 健斗	0	0	0	0	0	0	0	0
12	李 驍	0	0	0	0	0	0	0	0
13	井星 一希	0	0	0	0	0	0	0	0
14	本間 遼太郎	2	0	0	1	2	0	0	0
15	豊嶋 龍生	2	0	0	1	2	0	0	4
16	横尾 侑	0	0	0	0	0	0	0	0
17	西田 友弘	0	0	0	0	0	0	0	0
18	白川 健人	0	0	0	0	0	0	0	0
	井手口 孝/TEAM								0
	合計	64	2	8	26	53	6	7	12
	RATE		25%	49.1%	85.7%				

Team B 延岡学園 (宮崎1位)

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F
			M	A	M	A	M	A	
4	横瀬 孝樹	6	0	0	3	3	0	0	3
5	エリサ・ブイ	15	0	0	7	7	1	2	3
6	長谷場 祐二	3	1	1	0	4	0	1	2
7	永吉 佑也	18	1	4	6	6	3	1	1
8	川元 崇史	18	6	9	0	2	0	0	3
9	宇治橋 真悟	0	0	0	0	2	0	2	0
10	中小路 拓	0	0	0	0	0	0	0	0
11	寺原 庸太	0	0	0	0	0	0	0	0
12	西口 直哉	0	0	0	0	0	0	0	0
13	石灘 勝貴	0	0	0	0	0	0	0	0
14	中村 友哉	0	0	0	0	0	0	0	0
15	脇坂 恭輔	0	0	0	0	0	0	0	0
16	石田 慎太郎	0	0	0	0	0	0	0	0
17	大和 倫矩	0	0	0	0	0	0	0	0
18	甲斐 慶彦	0	0	0	0	0	0	0	0
	北郷 純一郎/TEAM								0
	合計	60	8	14	16	24	4	6	12
	RATE		57.1%	66.7%	66.7%				



【戦評】

決勝は2年ぶりの優勝を狙う福岡第一と初優勝を狙う延岡学園の対戦。第1ピリオド、お互いマンツーマンで試合スタート。福岡第一#10イブラヒマのシュートで先制すると、#8玉井の3P、激しいディフェンスからのスティールで連続得点し8-0と福岡第一がリード。延岡学園も#8川元の3Pで反撃するが、23-14で第1P終了。第2P、延岡学園は#7永吉のドライブから連続してフリースローを誘い、#8川元が3Pを沈めるなど23-25と詰め寄り。福岡第一はゾーンに変え、#7園、#8玉井がシュートを決める。35-26と福岡第一リードで前半終了。第3P、延岡学園#7永吉、#8川元の連続3Pで6点差とするが、福岡第一も#7園のジャンプシュートや速攻で得点を重ね、56-47とリードを保ったまま第3P終了。第4P、延岡学園#4横瀬がジャンプシュートを決めたことをきっかけに、お互いに点を取り合う時間帯が続く。残り1分、延岡学園#4横瀬がスティールから速攻を決め、64-60と点差を縮める。残り1分を切ったところでお互いにタイムアウトを要求し、延岡学園はオールコートマンツーマンで仕掛けるが追いつけず、64-60で試合終了。福岡第一が2年ぶりの優勝を飾った。

主審

安元 正彦

副審

神丸 一祐

記入者

石川 祐二・橋 裕